

メッセージ題「神を畏れる」 <先週の講壇より>

「王女は、葦の茂みの間に籠を見つけたので、仕え女をやって取って来させた。」

出 2:5 【新共同訳】

お隣のオレゴン州では、世界陸上が開催されています。そこに出場しているドイツ代表チームのためのフィジカルチームが、なんと私たちの修養会場で合宿をしていたのです。私たちの集会場と彼らのトレーニングルームが隣同士でしたので、チラッと彼らの部屋を見ましたら、様々な機器が並べられ、選手の体調を管理するための訓練を彼らは行っていました。選手を安全に、そして正しく勝利へと導くために、こういったチームがあるのだということを改めて知ったことでした。

今どきのスポーツ選手の中で、誰の指導も受けず、体調管理もされず、たった一人で自由気ままに大会に出場してくる人は誰もいません。食事やトレーニングは当然のこと、服装から風邪薬から何から多くの部分で専門的知識が必要になりますから、一人で好き勝手に運動していればいいという時代ではありません。

私たちの人生は、父・御子・御靈という最高で最強のチームが導いていてくださいます。あのモーセが乗った籠は、彼を救いへと導き、家族を、ユダヤ民族を、そして世界を救うものとなりました。イエス様という救いの籠に乗せていただいた私たち、それは確実に救いへと向かって一直線に進んでいるのです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《主の祈り》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を來たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わせず、惡より救い出し給え。國と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《使徒信条》。

私は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。私はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより來たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。私は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英國で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2022年1月24日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会
ホームページ: www.occc.org



[教会年間聖句]

「それは平和の計画であつて、災いの計画ではない。
将来と希望を与えるものである。」

エレミヤ29：11

☆集会案内☆

日曜礼拝	: 09:30-10:40
ブレイク	: 10:45-11:00
バイスタ	: 11:00-12:00
みふみ会	: (水) 10:00-
定例祈祷会	: (水) 18:30-

